



ゼロ 交通事故0を目指して 特集 交通安全

運転中、死角から人が飛び出してきた急ブレーキを踏んだ…。そんなヒヤッとした経験はありませんか。1度であれば「あー良かった」で済みます。しかし、小さなヒヤッとする出来事が積み重なれば、大惨事を引き起こす前兆かもしれません。

入学や新生活を迎えると、気持ちちがそわそわするとともに、交通環境も変化します。新しい春を迎える前に、今月号では、「交通安全」を取り上げます。

運転に過剰に慣れてはいけません。

ふと油断したときに、事故は発生します。

越生町の交通事故事情・減少傾向

町内における交通死亡事故は、平成26年12月に単独事故による死亡事故が発生して以来、2年以上発生していません。また、それ以前も8年以上（3179日）起きていませんでした。

一方、昨年重傷・軽傷の人身事故は27件・37人でした。一昨年からは5件・9人増えたものの、県内でも少ない件数（人数）です。これは、日頃から町民のみなさんが安全に配慮した運転がされているためであり、とても素晴らしいことです。

要注意箇所・バイパス各交差点

昨年、町内で発生した交通事故の大半は、バイパス沿いの各交差点付近で起きています。そして、その多くは前方不注意による自動車同士の追突事故でした。

バイパスは、直線で見通しがよく信号も少ないため、スピードが出やすく、注意が散漫となりがちです。前方の車と適度に車間距離をとりながら、余裕を持った運転を心掛けることが大切です。

越生高校付近（西和田）



直線で見通しがよいのでついスピードを出しすぎたり、脇見運転をしたりすることによる追突事故が多い。

成瀬のY字路交差点付近



陸橋を下った先にある交差点のためスピードが出やすく、小川町方面へ走行する自動車同士の追突事故が多い。

お巡りさんに聞いた 交通事故 要注意箇所

越生交番の職員がこの数年で対応した事故をもとに、越生町で事故が発生しやすい5か所とその発生状況などを紹介します。

DATA

越生町の人身 事故発生状況

平成28年1月～12月に発生した
全27件・37人の内訳

月別発生状況



時間別発生状況



傷者状態

四輪車が最も多い
28人



**越生町は3・4月に事故
が発生する**

一般的に交通事故は、日が沈むのが早くなる秋から冬に件数が増えます。越生町の場合、2月から4月にかけて増加する傾向にあります。その理由として、越生梅林の梅まつりが開催され、県外ナンバーをはじめとする交通量の増加が考えられます。

走り慣れない道は不安が伴います。町民のみなさんも交通量の変化に対応した、譲り合いの気持ちを持ち、交通ルールを守って走行しましょう。

運転の慣れや過信は怖い

普段走り慣れている道では、通学路や見通しが悪い場所を知っている、自然とスピードを落としたり細心の注意を払ったりと、危険予知することが出来ます。しかし、慣れや過信は禁物で、思いがけない出来事が発生することで事故は起きます。過失の割合では、自動車保険で全額支払うことができないケースもあります。

この機会に、ご自分の運転を再確認してみましょう。

黒岩のT字路付近



登下校時、多くの小学生が横断しますが、子どもばかりに目がとられることにより事故が発生します。全体を確認しましょう。

山吹橋T字路（越生東）



最近、駅から来る自転車が一時停止を怠り、毛呂山方面に向かう自動車と出会い頭の事故が発生しました。本線でも減速を。

如意のT字路交差点



バイパス沿いを横断する歩行者と、小川町方面から箕和田方面へ左折する自動車との接触事故が複数起きています。